

人事の実務的・実践的な課題解決にフォーカスした

人事実践セミナーのご案内

日本でも数多くの企業が取り入れている「目標管理(management by objectives)」。成果主義が叫ばれるようになって以降、評価制度と一体化し、多くの企業で人事制度上の中核の仕組みになってきました。

この目標管理は、毎期の目標設定～進捗確認～達成度評価と繰り返し実施されていますが、業績や組織目標の達成に向け、また能力開発・人材育成や公正な評価のため、うまく機能しているのでしょうか。

今回のセミナーは、この目標管理を形骸化させず、本来の目的どおり機能させるためのひとつの実践的なOJT手法をご紹介します。ワークを通じ体得して頂きます。

人材開発、教育研修、人事企画等を担当する責任者の方々にお薦めです。奮ってご参加下さい。

参加を希望される方は、裏面の申込書に必要事項を記載の上、お申込み下さい。(入会金・年会費・参加費無料)

2016年11月次プログラムのご紹介



部下が目標に向かって動き出す 「クォーター・コミュニケーション」とは

～目標管理に役立つ! 15分でできる上司のためのOJT手法～

株式会社エクセレント・サポート 代表取締役 岩橋浩一氏

日時：2016年11月15日(火)15:00～18:00

場所：パソナグループ本部ビル1F研修室(〒100-8228 東京都千代田区大手町2-6-4)

メッセージ

「目標管理」という言葉にマイナスイメージを持つ人がいます。メンバーはもとより、目標管理を推進する立場の上司側にも同じようなイメージを持つ人がいるのではないのでしょうか？

ドラッカーの提唱した目標管理の考え方は、もともと組織単位での活用を前提にしたものでしたが、目標をメンバーの個人レベルにまで無理やり下ろしたことによる弊害もあるのでしょう。「個人目標」を達成することが「組織目標」の達成に必ずしも結びつかないケースも散見されます。

また、目指すべき目標管理の姿は、目標をメンバー自身が立てて、その達成に向けて自らをコントロールすることです。しかし、自ら適切な目標を立て、その達成に向けた活動を自主的にコントロールすることは決して簡単なことではありません。そこには上司の適切な支援が欠かせないのです。

このような現状がある中で、本セミナーはメンバーの自主的活動を支援するための「クォーター・コミュニケーション」手法についてご紹介します。

この手法は1回わずか15分で完結できるシンプルなOJTの手法です。部下がモチベーション高く目標の達成に向けて動き出す、この手法の具体的な活用方法をご紹介します、その一部を体感して頂きます。

プロフィール

1985年キャノン販売株式会社(現キャノンマーケティングジャパン)入社。20年の営業、企画部門勤務を経験した後、グループ企業の社員18,000人を対象とした人材開発部門でのコンサルティング、講師に10年間従事。

長年に渡る企業勤務を通じ、社員モチベーションが企業業績に大きな影響を与えることを痛感。そのため、社内コミュニケーションやビジネスパーソンの心理に興味・関心を持ち、PHP研究所認定「上級ビジネスコーチ」や、米国NLP協会認定「マスタープラクティショナー」等の資格を取得。その後、活動の場を広げるため、株式会社エクセレント・サポートを設立し、代表取締役に就任。

現在は、企業研修はもとより、年間100人を超える管理職と面談し、部下とのコミュニケーション手法のアドバイスも行っている。また、10年を超える講師経験やスキルを基に、独自のOJT手法「クォーター・コミュニケーション」を考案し、全国に広める活動を行っている。

